

6月市議会定例会

一般質問

6月15日(火)から6月17日(木)の3日間の日程で、10人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して紹介いたします。なお、未掲載の質問については、会議録やホームページをご覧ください。

6月15日(火)

自民クラブ

永易英寿議員(30分)



問 新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

(2) 小中学校トイレの洋式化について

問 小中学校トイレ洋式化率は令和2年度全国平均57%だが、新居浜市は39・4%である。近隣市ではコロナ対策として目標を70〜80%に引き上げ整備を進めるが、新居浜市の目標60%は適切か。具体的な整備計画は。

答 学校施設全体の長期的な改修計画を今年度中に策定する予

定であり、その中にトイレの洋式化の推進を盛り込みたいと考えている。他市の状況や近年の校舍改修予定を踏まえ、工事範囲の検討を行い、洋式化率の目標値を精査するとともに、到達年度についても設定したい。

(3) 学校給食費の公会計化について

(4) 小中学生の体力向上と中学校

の部活動の展望について

(5) 地域医療体制の構築について

① 小児科・産婦人科医の不足

解消

② 医師確保奨学金貸付制度

(6) 大型公共事業の方針について

① 総合運動公園

② 市民文化センター

③ 新居浜駅南地区

問 第六次長期総合計画に取り

組みを位置付けている三つの大

型公共事業について、その方針

に与える影響を問う。また、各

施設の計画策定の進捗状況や年

度目標は。

答 長引くコロナ禍の影響によ

り厳しい財政状況にあるが、民

間活力活用などの新たな整備手

法導入により、財政負担軽減を

図りながら効果率的に事業を

進めていきたい。総合運動公園

については、庁内の検討会議に

ついて検討を進め、基本計画の早期策定を目指したい。市民文化センターについては、事業費整備手法の検討を行い、今年度中に建設場所を決定したい。駅南地区については、集客力のあ

る施設などの誘致推進、道路な

ど都市基盤整備について検討し

ていく。

(7) 市職員の人材確保と人材育成

について

(8) 新居浜の郷土史づくりについて

公明党議員団

黒田真徳議員(30分)



(1) 新型コロナウイルス感染症に

ついて

① ワクチン接種

② 感染予防

問 市内でも新型コロナウイルス

感染者が急増し、密接が不可

避な保育・介護施設などで感染

予防の負担が大きくなってい

る。除菌の設備設置が、負担軽

減と感染予防に有効だと考える

が、ご所見を伺う。

答 保育施設では、除菌・ウイ

ルス除去機能付きの空気清浄機

やオゾン殺菌保管庫などを導入

し軽減措置を進めているが、感

染予防の基本である手指消毒や換気などの継続も重要であるため、今後も負担軽減につながる新たな設備も併用しながら、感染症拡大防止に取り組む。

(2) 災害時の避難について

(3) 合併処理浄化槽の整備促進に

ついて

(4) 中小企業支援について

(5) 高齢者の通院支援について

問 コロナ禍で通院を控える方

が増え、病院までの交通費もそ

の一因となっている。重症化を

防ぐため、高齢者の通院支援が

必要である。利用しやすい交通

環境づくりが必要だと考える

が、ご所見を伺う。

答 本市では、デマンドタク

シーや福祉有償運送といった事

業を展開しているが、公共交通

空白地の解消や利便性の向上に

向け交通事業者と協議をしてい

る。今後もニーズ把握に努める

とともに、関係機関と協議を行

い、市民が利用しやすい公共交

通体系の構築や高齢者支援に努

めたい。

(6) 食品ロス削減について

(7) 諸証明のオンライン申請につ

いて

新居浜の未来を考える会
神野 恭多議員 (30分)



(1)本市の財政状況について

問 新型コロナウイルス感染症の影響で関連する支出が増加するとともに、税収をはじめ収入が減少する中、今後の財政運営に対しての、本市の認識と想定される対策を聞かせてほしい。

答 6月補正までに、感染症対策として約22億円の予算を計上し、税収が前年度比で約7億円の減となるなど、厳しい財政状況にあると認識している。来年度予算の編成に向け、全ての事業を対象に、費用対効果などの見直しを行い、健全な財政運営に努めていく。

- (2) 新型コロナウイルスワクチン接種について
 - ① 現状と課題
 - ② 今後のスケジュール
 - ③ キャンセルされたワクチンの有効活用
- (3) 内科・小児科急患センターについて
- (4) 子どもたちの居場所づくりについて
 - ① 学校に行きづらい子どもたちの支援

- ② 学校に行きづらい子どもを持つ保護者の支援
- ③ 感染対策期における公共施設の使用

(5)性的マイノリティーの支援について

① 認識と理解と支援

②同性パートナーシップ制度

問 最も大事なことは自治体が見せ、理解促進することだと認識するが、本市におけるパートナーシップ制度の導入についての考えを聞かせてほしい。

答 この制度が当事者の抱える生きづらさの解消を支援する方策になると考えるが、一方で多くの当事者が、地域や職場で自らの立場を表明することができない状況に置かれていることも考慮し、既に制度を導入した自治体の取り組み状況などについて調査研究を行っていく。

③教育現場における対応

6月16日 (水)

自民クラブ

田窪 秀道議員 (30分)



(1)COVID-19について

- ① ワクチン接種と感染者の情報発信
- ② アフターコロナの財源確保

(2)新たな工業用地確保について

問 元気で活力のある企業誘致とそれに伴う生産労働人口の確保は本市にとっては必要不可欠であるが、市は現状ゼロである工業用地の確保について今後どのような方策展望を掲げられているのか。

答 短中期的には、民間ベースでの開発も含め、より効率的な用地整備を進めたいと考えている。臨海部および内陸部での新たな工業用地の整備については、人口減少など社会経済の変化や各業界動向なども注視しつつ長期的な視点で取り組みを検討していく必要があると考えている。今後においても企業ニーズの把握に努め、適切な工業用地の確保を図っていく。

(3)観光振興について

① 観光宿泊施設の今後の展望

② 新たな観光名所の創出

(4)ごみステーション問題と自治会加入の意義について

問 単位自治会が管理しているごみ集積場所に非会員がごみを捨てることを黙認する代わりに

交付金を支給したとしても問題の根本的な解決や自治会員の負担軽減にはつながらないと考えるがいかがか。

答 自治会の皆さんからご意見、ご要望を伺いながら約1年をかけて解決に向けて取り組み、補助金・交付金制度を導入した。今回の新たな取り組みは地域と行政が一緒になって問題解決に取り組む初めの一歩と考えており、今後においても、ご理解ご協力を得ながら、問題の解決が図られるよう努めていく。

無党派

井谷 幸恵議員 (10分)



- (1) 家庭ごみの一部有料化について
- (2) 福祉の向上について
 - ① 生活保護と自動車の保有
 - ② 特別障害者手当の周知徹底
- (3) 河川の中の雑木撤去について

公明党議員団

河内 優子議員 (30分)



- (1) 女性への新型コロナウイルス感染症の影響について
 - ① 生理の貧困
 - ② 女性支援
- (2) ドライブレコーダーの防犯へ

の有効活用について

(3)障がい者支援について

①歩行者横断支援

②日常生活用具

③デジタル障がい者手帳

問 障がい者手帳は、手帳利用のたびに、個人情報や障がい名を見られるため抵抗を感じる。スマートフォンで確認でき、手帳提示のストレスを軽減できるデジタル障がい者手帳の活用のお考えを伺う。

答 デジタル障がい者手帳を活用するには、実際に確認を行う利用施設などに周知を図るなど協議が必要になる。今後は障がい福祉サービスなどの内容を記載した障がい福祉のしおりなどにより周知を図っていく。

(4)学校教育について

①ヤングケアラー

問 ヤングケアラーは少子高齢化などにより学校に通いながら家族の介護を行う子供たちで、年齢に見合わない負担が掛かり支援が必要である。ヤングケアラーの実態や支援体制、相談窓口について伺う。

答 ヤングケアラーに特化しての実態把握はしていないが、そのような状況が確認された場合

は個々に対応する。支援体制として、スクールソーシャルワーカーなどとの学校や家庭への同行訪問を実施している。相談窓口は、スクールカウンセラーなどによる相談、24時間子供SOSダイヤルなどがある。

②登校しづらい児童生徒への支援

③心のサポート

無党派

片平恵美議員（10分）



(1)障がい児福祉計画の推進について

①市長の障がい者福祉への取組姿勢

②児童発達支援センターの整備

③医療的ケア児の短期入所

(2)金栄橋について

(3)サウジアラビア王国ウエートリフティングチームとの今後の交流について

6月17日(木)

新居浜の未来を考える会
合田晋一郎議員（30分）



(1)新型コロナウイルス感染症に

ついて

①市内の感染状況

②15歳以下のワクチン接種

(2)聖火リレーについて

(3)まちづくりタウンミーティングについて

(4)夜間中学について

問 不登校などで十分な教育を受けられなかった方を受け入れる重要な役割を果たしている夜間中学を、国の支援が約束されている今、誰一人取り残さない学びの場として検討できないか伺う。

答 令和2年度に実施したアンケート結果では、夜間中学に入りたいと回答した人のうち入学対象と思われる方は数名程度であり、今のところ開設の予定はないが、今後、県および県内市町の動向を注視しながら検討する必要があると考えている。

(5)市民文化センター建設事業について

①一団地の官公庁施設

問 耐用年数を迎える市民文化センターの新施設を検討する上で、市役所周辺「一団地の官公庁施設」の国・県施設も含めた将来構想、未来図を描けないか伺う。

答 市民文化センターの建設位置については決定していないが、一団地の官公庁施設該当区

域への建設を検討する際には、他の公共施設を含め、区域全体を総合的に判断し、国、県とも協議を行いながら進めていく必要があると考えている。

②大江橋高木線

(6)高木交差点について

(7)新居浜駅周辺の南北交通について

自民クラブ

伊藤優子議員（30分）



(1)地域コミュニティ基本指針について

問 人口減少、少子高齢化に対応した町づくりが求められている。本市では、さまざまなコミュニティ活性化策を実施してきたと思うが、コミュニティ活性化策を具体的に示していただきたい。

答 自治会には、コミュニティ施設建設補助や施設整備補助、防犯灯のLED化、広報活動などへの交付金の支出、自治会加入促進冊子の作成などの支援を、校区には、防災、防犯



新居浜市議会



←新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく！

対策や環境美化などの事業への交付金の支出やコミュニティ支援員制度の導入などを行っている。

(2) 上下水道事業について

① 水道事業の安定した経営

② 公共下水道事業の投資計画と財政計画

(3) ヒトパピロームウイルスワクチン接種について

(4) 省エネルギーの取組について

① 省エネルギー及び再生可能エネルギーの導入

② グリーンシティー

③ 再生可能エネルギーの地産地消

(5) 新型コロナウイルス禍における新しい取組について

(6) 中学生の自転車通学について

問 少子化が進む中、保護者の負担軽減や生徒の安全安心な通学のために、希望する全ての生徒への自転車通学をぜひ考えていただきたいと思うが、いかがか。

答 自転車置き場の設置費用や設置場所の問題もあり、一律に自転車通学の許可を行うことは難しいと考えているが、不審者などの問題もあるため、生徒数の動向や学校の意見なども踏まえながら対応していきたい。

無党派

小野 志保議員 (10分)



(1) 新型コロナウイルス感染症について

① 受験生等PCR検査実施事業の拡充

② 自宅待機者への生活支援

委員会開催報告

議会閉会中に常任委員会を開催しました。その調査の主な内容についてお知らせします。

◎企画教育委員会

7月7日(水)

3月から限定公開されている住友山田社宅2棟の現地調査を行いました。



住友山田社宅現地調査

◎市民福祉委員会

7月6日(火)

新型コロナウイルススワクチン接種および消防体制について、市担当部から聞き取り調査を行いました。

◎経済建設委員会

7月8日(水)

新居浜市観光物産協会「ここくるにいはま」、高柳公園および岡城館歴史公園の現地調査を行いました。

9月市議会定例会

時間 午前10時開会
本会議はCATV112チャンネルで生中継と録画放送、市議会ホームページで動画配信を行っています。

開催日	内容
9月7日(火)	議案上程、説明、質疑、委員会付託、請願審査の委員長報告、討論、採決
9月14日(火)	一般質問 大條 雅久 議員(40分) ・予算質疑 高塚 広義 議員(40分) (代表) 篠原 茂 議員(40分)
9月15日(水)	一般質問 片平 恵美 議員(10分) ・予算質疑 白川 誉 議員(30分) (個人) 小野 志保 議員(10分) 井谷 幸恵 議員(10分) 米谷 和之 議員(30分)
9月16日(木)	一般質問 伊藤 嘉秀 議員(30分) ・予算質疑 藤原 雅彦 議員(30分) (個人) 小野 辰夫 議員(30分)
9月17日(金)	市民福祉委員会開催 経済建設委員会開催
9月21日(火)	企画教育委員会開催
9月24日(金)	委員長報告、討論、採決

議事課

FAX ☎ 65 65
1 3 2 2
1 3 2 1



ここくるにいはま現地調査